

こんにちは もうり 栄子です



警察委員会(10月6日)

警察委員会

認知症高齢者の行方不明対応は 関係機関と連携強化を

2025年には一人暮らしの割合が44.3%になるとの国立社会保障・人口問題研究所の将来推計数字を紹介させていただきながら一人暮らしで行方不明になった場合の捜索願いは第3者がやることになるため、特徴やいなくなった時間なども不明であ

り、署に出向いて申請するのではなく電話でも可能にできないかと質問。原則は対面で受け付けるとのこと。消防や防災無線を使つての捜索など連携を密にし早期発見に努め最悪の事態にならない対応を求めました。

信号機のない市道(旧道)交差点の 危険回避対策を！

諏訪湖スマートインター開通に伴うアクセス道路の安全対策の現状と改善について質問。7月27日開通以来9月末までに事故は3件。信号機のない岡谷市道との交差点には一時停止の表示やカラー舗装、アドバイスミラーの設置を行い、7時から9時は右左折禁止にし注意喚起を行っ

ているとのこと。市道側は防音壁で見通しが悪く、降りてくる車のスピードが速いため危険。現場は湊小、南部中の通学路にもなっているため冬場の凍結防止策と合わせ県道の信号を歩車分離式にするなど地元の意見を聞きながらさらなる安全対策を求めました。



上伊那森林組合で懇談(9月5日)



知事申し入れ(9月16日)

みなさん、こんにちは。あの猛暑がウソのように朝晩は寒くなり、急激な季節の移ろいに驚いています。地球温暖化の影響でしょうか。日本の四季は二季になってしまいかもしれません。物価高は収まることを知らず、上がり続け、あちらこちらから悲鳴が上がっています。物価高騰対策が急がれます。九月議会では諏訪湖スマートインター開通に伴うアクセス道路の交通安全対策について、税金滞納に係る強引な徴収改善についてなどを委員会審査を通じて取り上げさせていただきました。

総務企画委員会



総務企画委員会(10月8日)

長野県地方税滞納整理機構の強引な 取り立ては改善し、組織の見直しを

全77市町村と県が長野県地方税滞納整理機構を発足させて15年。基本負担額は77市町村それぞれ5万円、県は3000万円、処理件数割(1件10万円)、徴収実績割で運営。機構が引き受けた滞納の内訳を問うと、地方税24.6%、固定資産税32%、国保税38.1%と答弁。国保は無職や無収入、低所得者など財政基盤が弱い皆さんが加入。その滞納に対し生命保険や給料、預金を差し押さえて取り立てるのはあまりに非情で強引。改善を求めました。また機構に頼む滞納がない自治体が7、徴収を頼んでも1円も徴収できなかった自治体が16あるもとで機構のあり方を見直し、市町村の丁寧な納税相談で対応すべきと求めました。

ひきこもり・不登校でも介護休暇の取得は可能

仕事と介護の両立のため、通算93日の介護休暇が取れます。高齢者への取得は知られていますが、育児・介護休業法の改正で、常時介護状態が2週間以上続く場合に医療的ケアを含めた障害児にも適用されることになったため、県職員の取得状況と周知、取得できる環境整備を求めました。県では令和5年12月から実施し、令和6年度は31人が取得と答弁。さらに不登校の小中学生が県下で7000人を超える状況のなか、今年1月厚労省はひきこもり・不登校の場合も個々の事情に応じた運用ができると報告書を出したことから、県としても職員に周知して欲しいと求めました。

